

見守りシステム

主たる提供特許	出願者	国立大学法人長崎大学
	題名	見守り装置
	番号	特願2015-158948

インターネットを利用した双方向通信の見守りシステム

技術概要

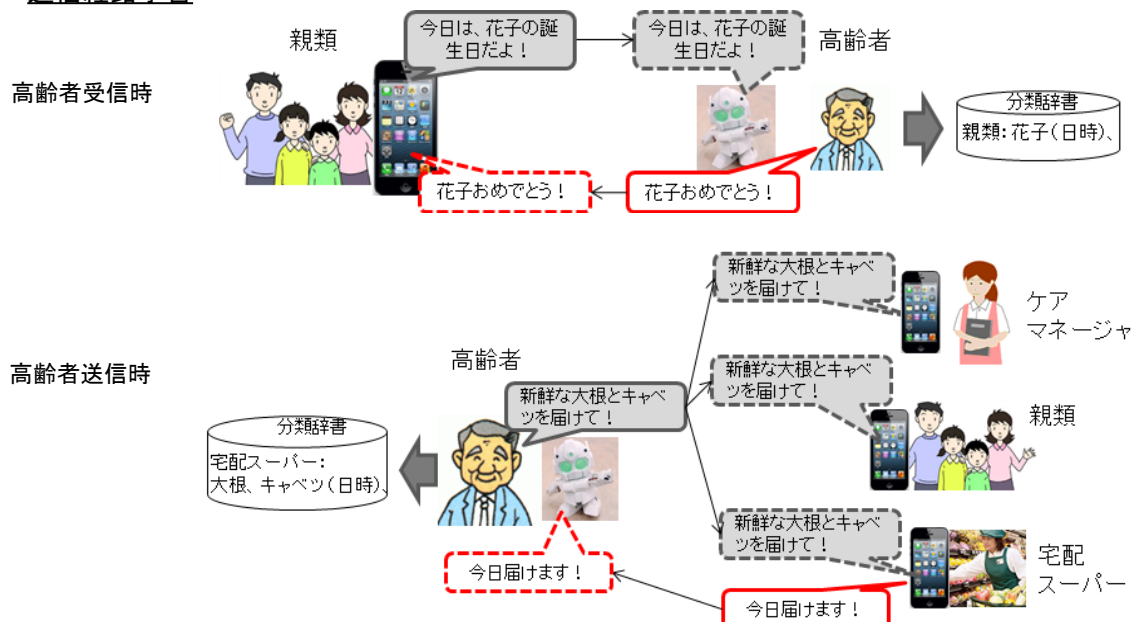
発明の背景

高齢者見守りサービスは、安否を確認する程度のものである。たとえば、高齢者宅の家電の利用状況を離れて暮らす近親者にメールで通知するといったサービスである。しかし、安否確認サービスだけでは、高齢者の社会参画には寄与しない。そこで、高齢者も利用する双方向型のコミュニケーションサービスが必要である。若年層においては、スマートフォンなどを用いたソーシャルネットワーキングサービスを利用した非同期かつ双方向のコミュニケーションが一般化してきているが、これらはスマートフォンやパソコンに慣れてない高齢者にとって敷居が高い。

発明概要

- ・高齢者側インタフェースはマイクとスピーカ+操作スイッチあるいは動作感知センサのみ
- ・見守り側(家族、ケアマネージャ等)はスマートフォン等を使用
- ・既存のソーシャルネットワーキングサービスを利用
- ・通信経路の学習機能を有する

通信経路学習



特長

- ・ワンボードコンピュータに実装、将来的にはクラウドシステムにも展開可能
- ・見守り側によるアカウント情報登録・管理が可能
- ・通信経路学習部の送受信履歴をログ情報として収集・分析が可能

応用分野

実用化例

- ・在宅高齢者の見守りシステム

企業へのメッセージ

実用化にご協力頂ける企業様を探しています。